

第2回

和寒町

ふくしのまちづくり

町民サミット

「自分たちのまちを自分たちでつくる」

子育て・教育

雇用の創出

世代間交流

農業・食・文化

施設について

福祉や特別養護老人ホームの建て替えのことだけではなく、自分たちの暮らしを自分たちでよくすることや、自分たちの作りたいまちを自分たちで作ることについて、ともに語り、ともに学びませんか。

日時：令和5年10月14日(土) 13:30～16:30 (開場12:30)

場所：和寒町公民館「恵み野ホール」

入場無料

注意事項：感染症拡大防止のため、参加者はマスク着用にご協力をお願いします。

●参加方法

参加希望者は、10月12日(木)までに和寒町保健福祉センター(TEL 32-2000)または右記QRコードへご連絡ください。



※後日、当日の様子を動画配信いたします。視聴をご希望の方はkikaku@yu-yu.or.jpまでご連絡ください。

主催：和寒町

問合せ：保健福祉課ふくしのまちづくり推進担当 TEL.32-2000

第2回 和寒町 ふくしのまちづくり 町民サミット

「自分たちのまちを自分たちでつくる」

第一部 13:30～15:00

1 あいさつ

2 事業経過報告「和寒町ふくしのまちづくりプロジェクト」

これまでの取り組みとそこから見えてきたポイントについて



事業受託者



大原 裕介

社会福祉法人ゆうゆう 理事長
北海道医療大学 客員教授



金野 千恵

建築設計事務所teco 主催
京都工芸繊維大学 特任准教授

3 講演「共創のまちづくりの本質を考える」

おざさ たかお

講師:小篠 隆生 氏 北海道大学工学研究院 建築都市部門 空間デザイン 准教授

1958年生。1983年北海道大学工学部建築工学科卒。2006年から北海道大学大学院工学研究院准教授。博士(工学)。一級建築士。専門は、キャンパス計画、都市計画、都市デザイン、建築計画。主な著作には、『「地区の家」と「屋根のある広場」』(2018、鹿島出版会)、「まちのようにキャンパスをつくり、キャンパスのようにまちをつかう-大学キャンパス再生のデザイン」(2020、日本建築学会分担執筆)など。主な作品に、北海道大学ファカルティハウス(1995)、東川町複合交流施設せんとぴゅあ(第18回公共建築賞優秀賞2023)。東川町学社連携推進協議会で農林水産大臣賞を受賞(むらづくり部門2016)、(一社)サステナブルキャンパス推進協議会 CAS-Net JAPAN副代表幹事。



第二部 15:15～16:30

4 住民参加型グループワーク「もっと和寒町をデザインする」

参加している皆さんとこれからのまちについて話し合います!

和寒町をこんなまちにしたい!

わたしたちには、こんなことができる!

